

緊急議会が開かれます

根室市議会は、2月15日に緊急議会を開く予定です。審議される予定の議案がどのようなものなのか、見てみましょう。



スーパー土嚢が並んでいる、現在の弥生町“船溜まり場”の様子

根室港防潮堤整備のため
の調査等
一年間で3回もの水害
に見舞われた根室市。特
に、高潮対策は急がれま
す。

現在は、根室港区の海
岸町、本町、弥生町など
に、「スーパー土嚢」が設
置（写真）されていて、
本年1月20日の大型低気
圧による高潮警報発令時
にも一定の効果を発揮し
ました。しかし、「スー
パー土嚢」は言ってみれ
ば消耗品であり、抜本的
な対策が必要です。

今回の緊急議会に上程
予定の補正予算では、弥
生町の海岸線430メー
トルに対し、測量調査及
び暫定対策工事費の予算
措置が提案される予定で
す。財源は、国の補正予
算による「防災・安全社
会資本整備交付金」など
が充てられるものとみら
れます。

ふるさと納税推進事業

「ふるさと納税」とは、
地方自治体に寄付する
と、住民税などが軽減さ
れる制度です（根室市の

ホームページより）。

根室市では、住み続
けられる「安心」と「支
え合い」のまちづくりプ
ロジェクト、住みたい
と思える「ひと」と「し
ごと」を呼び込むプロジ
ェクト、みんなで実践
する「市民協働」の推進
プロジェクト、北方領
土返還運動に関する事
業、根室市一任、以上
の5つのメニューを示
し、寄付を受け付けてい
ます。寄付をされた方に
対しては、額に応じて返
礼品を送っています。

この、根室市のふるさ
と納税推進事業につい
て、新聞などでも報道さ
れている通り、昨年6月
から外部サイト連携方式
を導入し、収納方法や返
礼品の多様化を図った結
果、その寄付件数は前年
度対比で約900倍にも
なりました。そのため、
返礼品贈呈に要する費用
が不足することが見込ま
れ、今回の緊急議会で補
正予算措置が上程される
予定です。

本年度4月と5月の寄
付件数はそれぞれ4人、

寄付金が4月5万5千
円、5月14万5千円でし
たが、返礼品の多様な
を図った6月には28
9人と一挙に70倍に増
加。その後も右肩上がり
に伸び続け、年末の贈答
シーズンが始まる11月に
は5742人、12月には
29823人に達しまし
た。2月3日現在で、寄
付者の延べ人数5万人
超、寄付金の総額は12億
円超、返礼品の費用は3
億3千万円超となってい
ます。ちなみに、過去7
力年の合計が、寄付者数
約400人、寄付金約9
千4百万円ですから、本
年度6月以降の数字がい
かにすごいものかわか
ります。

傍聴に来て下さい

緊急議会は15日一日間
で、午前10時より議事堂
で行われます。議案は、
ご紹介した2件を含む補
正予算のほかに、職員給
与の条例改正も上程され
る予定です。

議会はどなたでも傍聴
できますので、どうぞお
気軽にお越しください。